



①「メンテナンス」情報・青白く明るいヘッドライトって!?

最近、夜に走ってる車でよく見かける青白く明るいヘッドライトが気になりませんか？



あれは従来の白熱電球を使ったライトではなく、「キセノンガス」「水銀」「ヨウ化金属」などを封入したバルブ内の電極間の放電で発光するランプを使用したライトです。

通称「キセノンライト」や「ディスチャージヘッドライト」って言います。

もともと映画やTVのロケの照明やグラウンドの照明などに使われている高輝度放電ランプ(HIDランプ)を自動車などの車両用にアレンジしたものです。

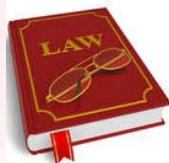
高効率で消費電力も少なく長寿命で太陽光と色温度が近いなどが特長です。

最近では、標準で装着されている車も増えてきてますが、非装着の車でもアフターパーツで取付けが可能です。

(車検対応品も多数あります) 普通のハロゲンライトから交換したら感動ものですよ！

気になる方は是非「MAK通信」までお問合せください

②「お役立ち」情報・ひと口 法律メモ 「使用者責任って何？」



被用者が使用者の事業で不法行為の賠償責任(709条)を負った場合に使用者も被害者に対して賠償責任を負うことをいいます。(民法715条)

その趣旨は人を使って利益を得ている者はそのリスクも負うべきである(報償責任)とするものである。



身近な例でいえば従業員が通勤途中に交通事故を起こした場合に通勤中は使用者の事業の執行中にあたるので(判例)会社経営者も被害者に対して賠償責任を負うということがあります。

但し、賠償責任を果たした使用者から被用者に対して求償することは可能です。(民法715条3項)

③「季節」情報・冬本番、火は怖いです！



冬のこの季節、空気が本当に乾燥しています。あらためて火を考えてみて下さい、物を無に変わってしまうのですから。

正月、一日の22時に旅先の宿で火災に遭遇いたしました。火の速さと、煙の怖さを実感いたしました、まさか自分がこのような体験をするとは思っていませんでした。

火事が起こった時に落ち着いて行動できるよう、正しい知識を身につけましょう。

- 1.火事を発見したら、大きな声で周りの人に知らせましょう。もちろん119番に連絡します。
- 2.消火器などで消火しますが、天井の高さまで火が大きくなればすぐに避難しましょう。
- 3.避難する時は、煙を吸わないよう、ぬれたハンカチやタオルで鼻と口をおおい、姿勢を低くして避難しましょう。

火災予防の為、日ごろから気をつけましょう。



- 1.寝タバコやポイ捨て、歩きながらの喫煙はやめましょう。
- 2.料理の時は、コンロのそばを離れない、ストーブなどの暖房器具のそばに物を置かない。
- 3.長期外出時はコンセントを抜きましょう、放火による火災を防ぐため家の周りに燃えやすいものは置かないように。

私があ感したこと、自宅や職場での避難経路はいくつか考えておきましょう、シュミレーションしておくだけで落ち着いて行動できるものですよ！命あつての人間です、まずは生きることです。

MAK通信 発行責任



松山自動車 代表 松山正

大阪府堺市南区畑286-5 TEL 0120-234-028

アクティブ車体 代表取締役 坂本浩司

大阪府堺市西区菱木1-2242 TEL 0120-745-155

KY自動車 代表取締役 内田肇

大阪府泉津市我孫子182 TEL0725-21-5291